

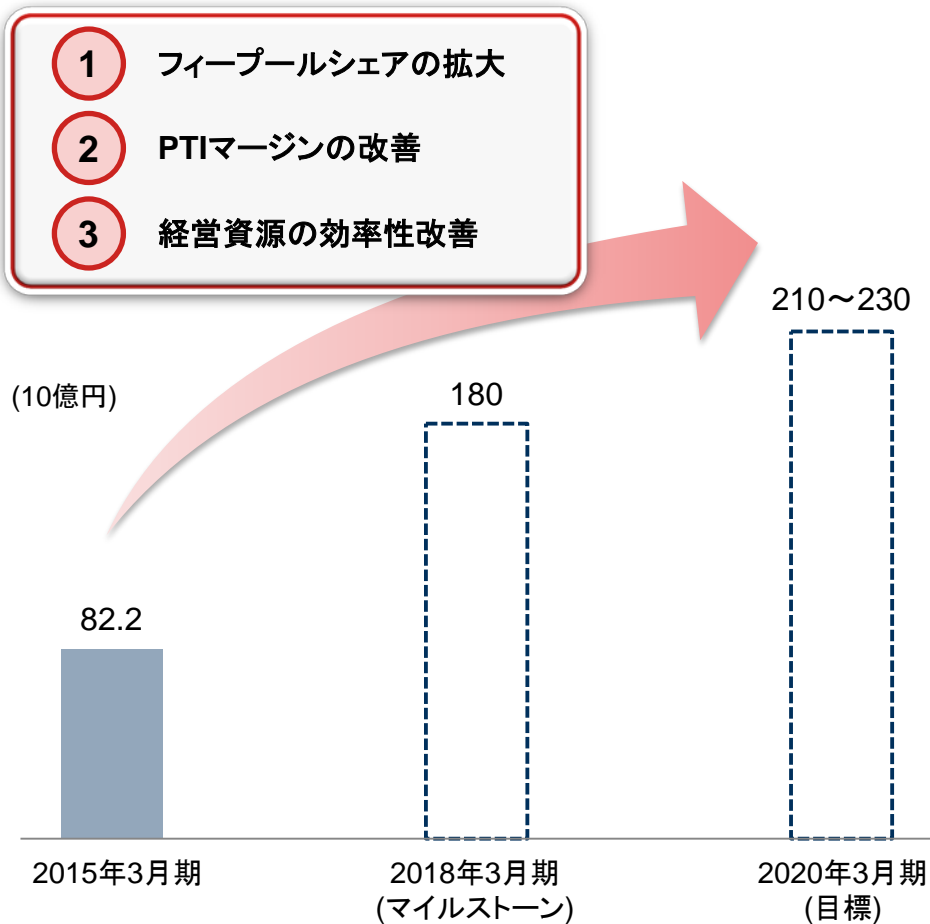
インベスターズ・デー

野村ホールディングス株式会社
ホールセール部門CEO
尾崎 哲

2015年5月28日

ホールセール部門の収益性向上

2020年3月期の税前利益目標



目標達成に向けた主な指標

	2015年3月期	2018年3月期 (マイルストーン)	2020年3月期 (目標)
① フィープールシェア	3.2%	3.6%	3.7%
② PTIマージン	10%	20%	23%
③ 経営資源の効率性 (収益÷リスク調整後資産)	(2014年3月期比) +32bps	(2014年3月期比) +100bps	(2014年3月期比) +130bps

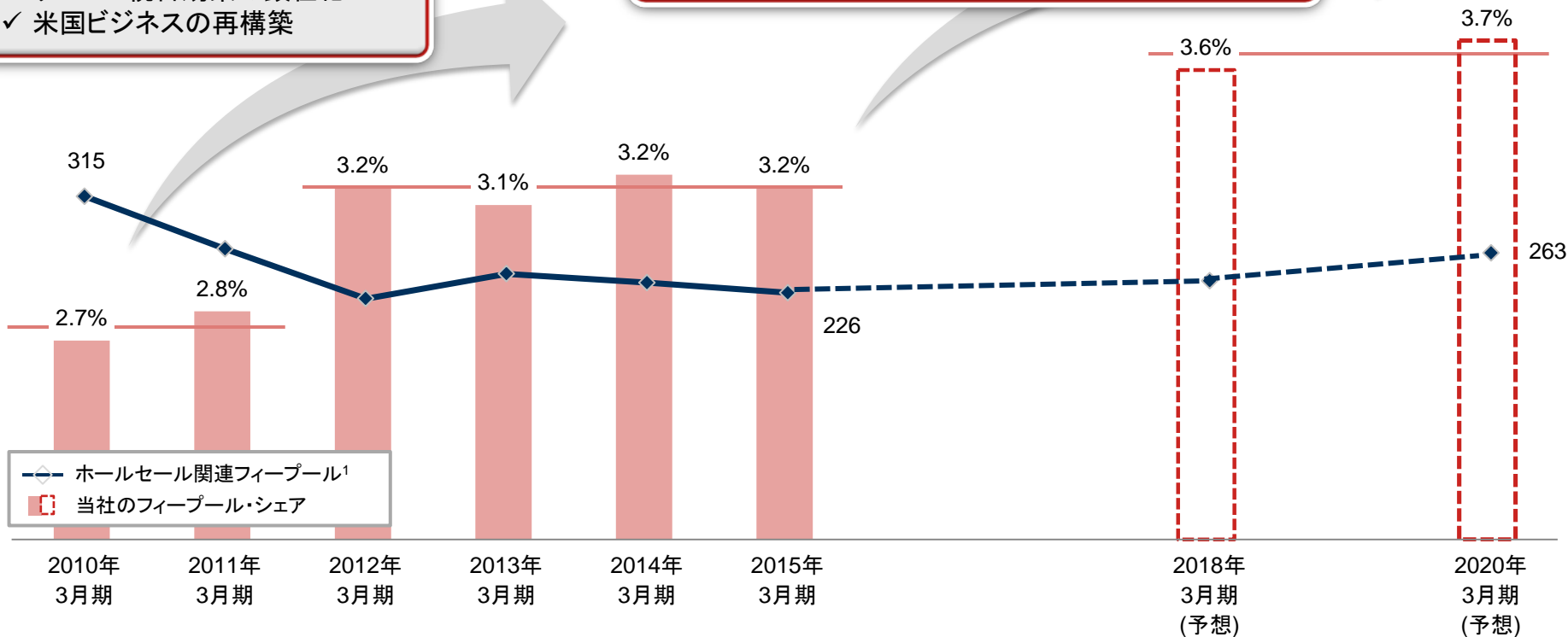
(10億ドル)

シェア拡大のドライバー

- ✓ リーマン統合効果の顕在化
- ✓ 米国ビジネスの再構築

シェア拡大のドライバー

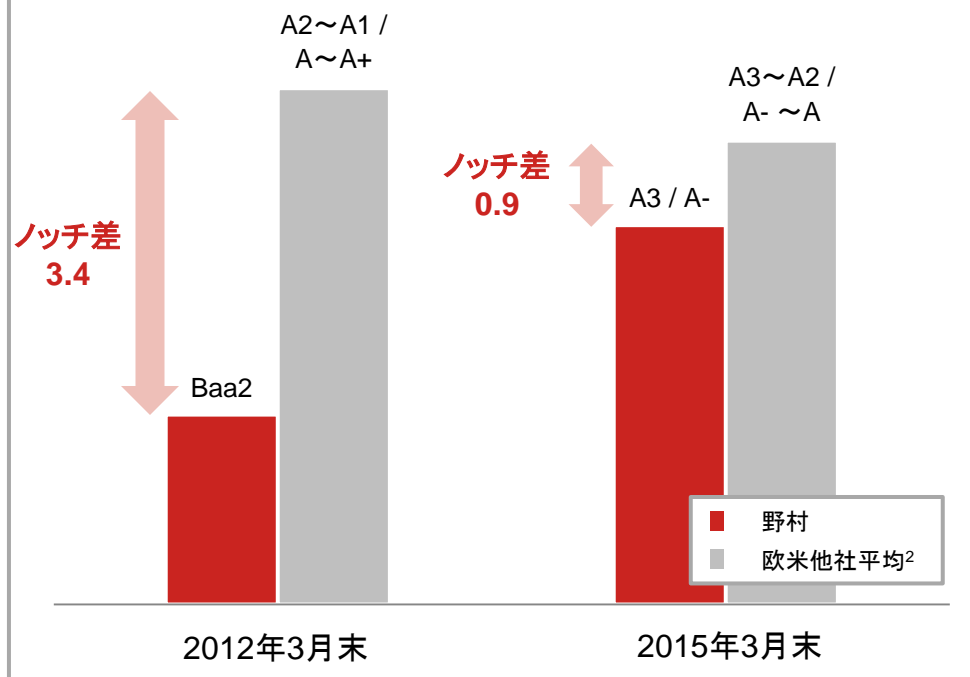
- ✓ 当社格付けの相対地位向上
- ✓ オリジネーションなど、部門間・地域間シナジーを追求
- ✓ 現状の経営リソースを大きく増やすことなく、強みのある分野で顧客ビジネスを拡大



1. 出所: Oliver Wyman, Coalitionのデータから当社推計

当社格付けの相対的な地位の向上

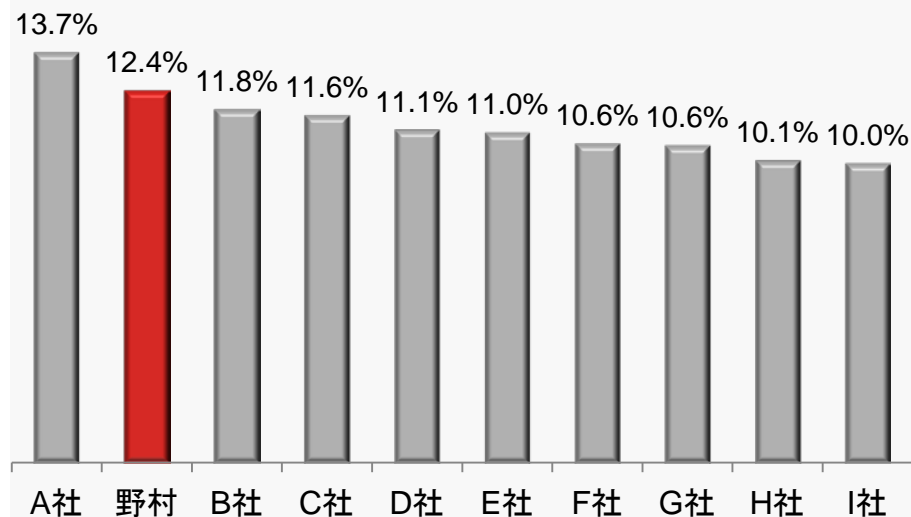
- 2014年10月、Moody'sが当社格付けを引き上げ(Baa2⇒A3)¹
- 欧米他社の格付け見直し等を受け、当社と欧米他社の格付け格差(ノッチ差)は縮小



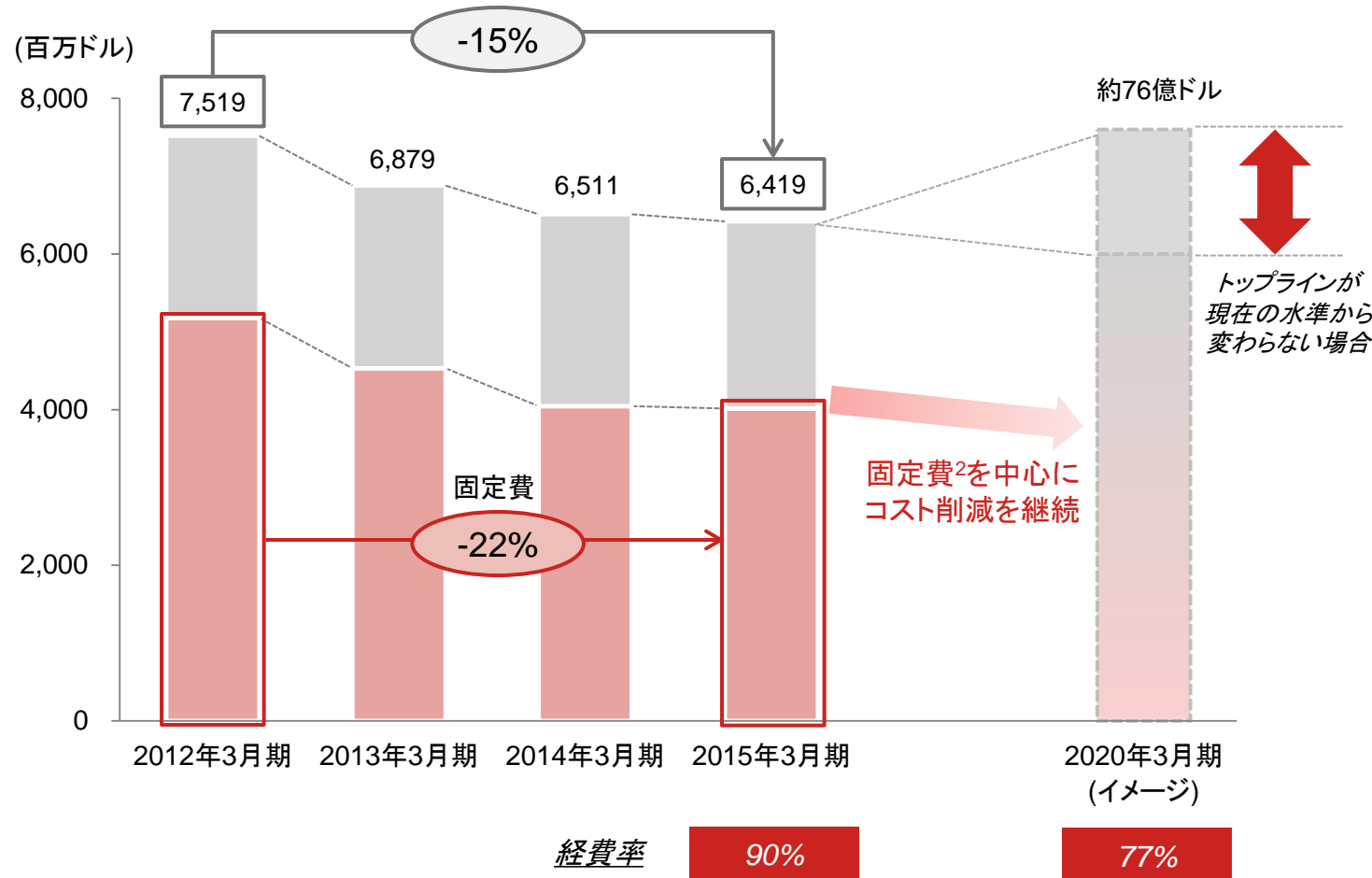
リソース・マネジメントにおける相対的立ち位置

- 相対的に高い自己資本比率を維持
- 今後も現状のRWA水準を大きく増やすことなく、顧客基盤の強化とシェア拡大を図る

Tier 1コモン比率(2015年3月末、バーゼル3出口基準)³



1. 野村証券
 2. 米系5社(Goldman Sachs, Morgan Stanley, JPMorgan, Citi, Bank of America)と欧州系4社(Deutsche Bank, Barclays, Credit Suisse, UBS)のOperating Companyに対するS&PおよびMoody'sのいずれか低い方の格付けを集計
 3. 出所:グローバル金融機関9社(Goldman Sachs, Morgan Stanley, JPMorgan, Citi, Bank of America, Deutsche Bank, Barclays, Credit Suisse, UBS)開示資料より当社作成、2015年3月末

ホールセール部門コストと、今後のランレート¹**ITコスト**

- 不要システムの廃止、ITプラットフォームの効率化等

不動産コスト

- 空きスペースのサブリース、フロア利用の効率化

間接部門コスト

- フロントとの整合性から費用水準を精査
- 業務プロセス、アウトソース業務の整理

人件費

- 引き続き、Pay for performanceを継続

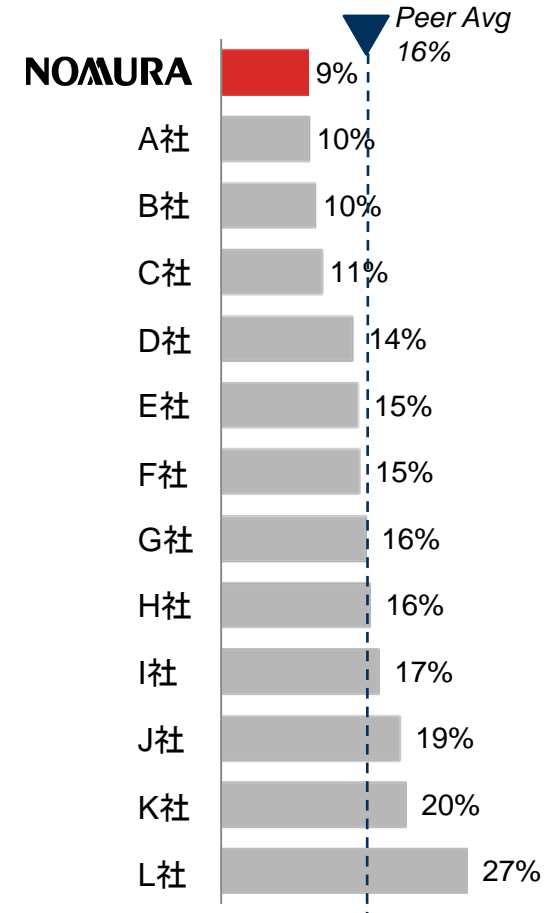
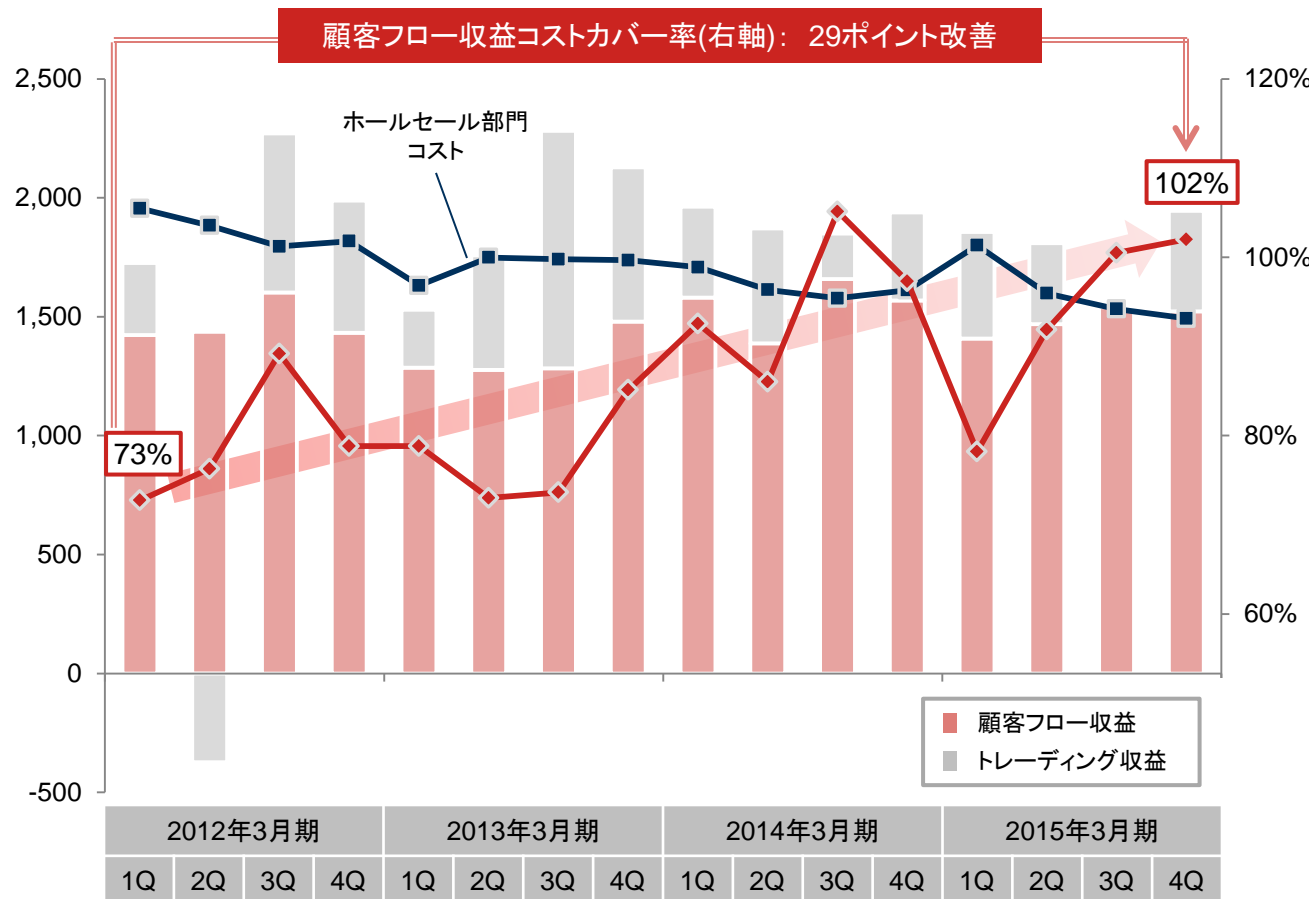
1. 各期間の月末スポットレート(月末)でドル換算
 2. 賞与以外の人件費、ITコスト、不動産コスト、間接部門コスト等を固定費と見做す

収益性の改善:顧客ビジネス拡大による収益の安定化

損益分岐点の低下を受けて、顧客フロー収益コストカバー率が上昇¹

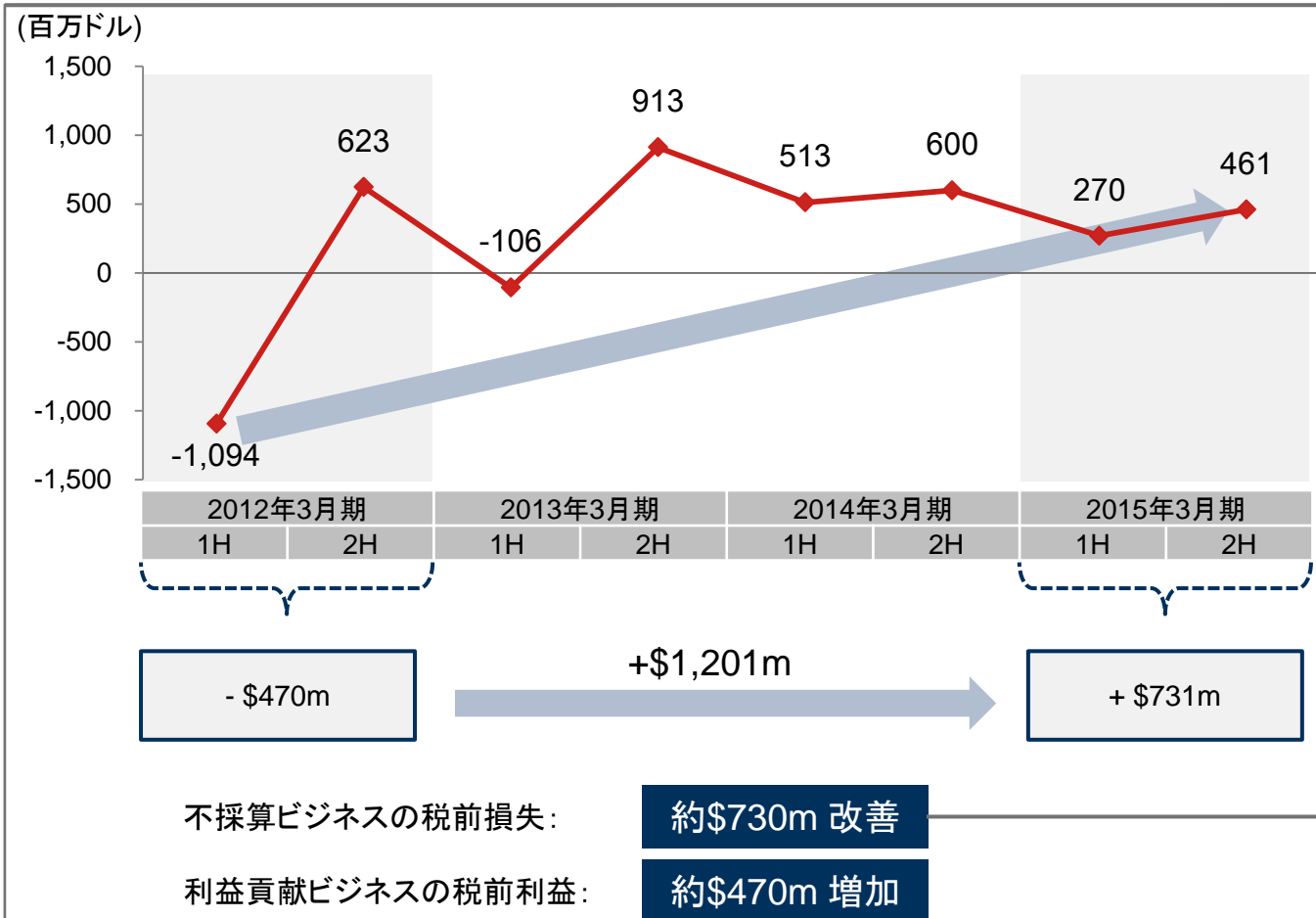
ホールセール収益のボラティリティ²

(百万ドル)



1. 各期間の月末スポットレート(月末)でドル換算

2. 期間:2013年1月~2014年12月、出所:グローバル金融機関12社(Goldman Sachs, Morgan Stanley, JPMorgan, Citi, Bank of America, Deutsche Bank, Barclays, Credit Suisse, UBS, BNP Paribas, Societe Generale, RBS)開示資料より当社作成

ホールセール部門の税前提利益(ドルベース)¹

不採算ビジネスへの対応

- 資本効率の側面から、ビジネス毎のパフォーマンスを継続的にレビュー
- フィーパールの見通しやフランチャイズとしての必要性も考慮
- 各ビジネスの特性に応じたアクション・プランを継続

各四半期のPTIマージン上位8プロダクト

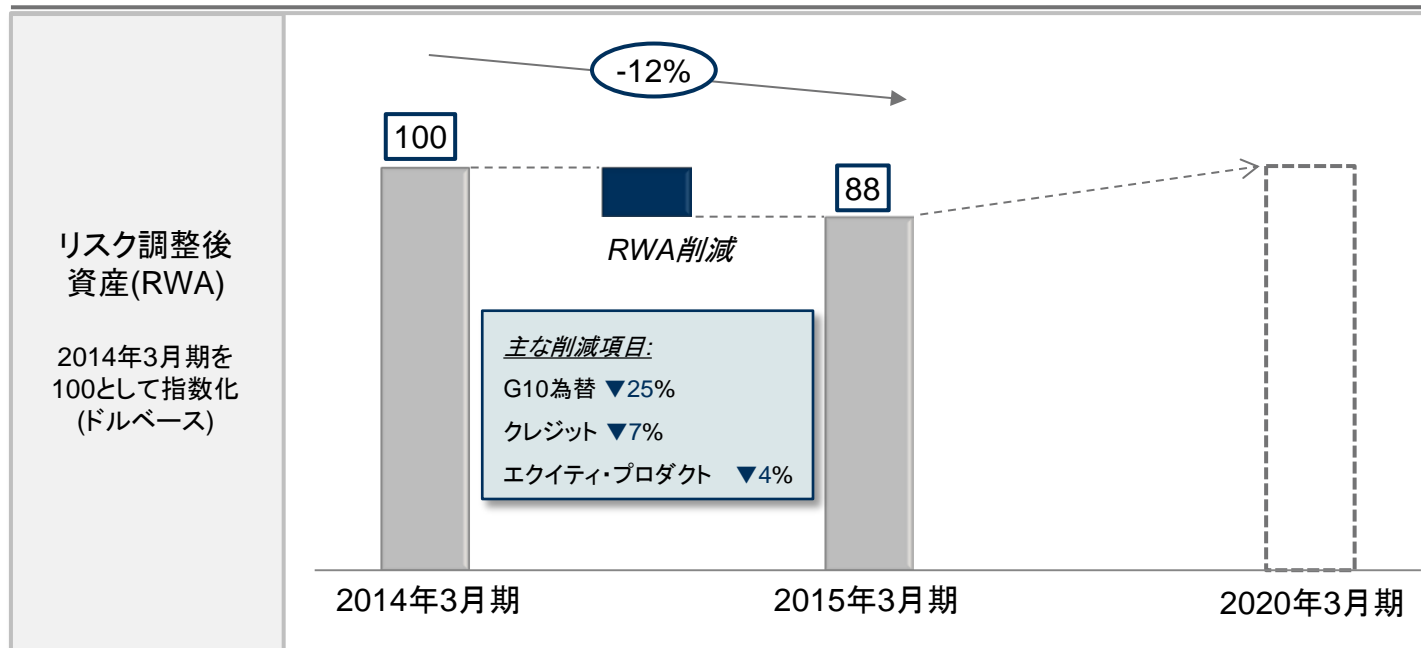
日本	米州
欧州	アジア

順位	2014年3月期				2015年3月期			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
1	クレジット	証券化商品	エマージング・マーケット	金利	証券化商品	G10為替	エマージング・マーケット	G10為替
2	エクイティ・プロダクト	クレジット	クレジット	証券化商品	クレジット	G10為替	G10為替	G10為替
3	G10為替	エマージング・マーケット	エクイティ・プロダクト	クレジット	証券化商品	G10為替	クレジット	G10為替
4	インベストメント・バンキング	エクイティ・プロダクト	金利	エグゼキューション・サービス	G10為替	エマージング・マーケット	G10為替	エマージング・マーケット
5	エマージング・マーケット	金利	クレジット	G10為替	エクイティ・プロダクト	クレジット	エマージング・マーケット	クレジット
6	証券化商品	エマージング・マーケット	クレジット	証券化商品	クレジット	証券化商品	エクイティ・プロダクト	エクイティ・プロダクト
7	G10為替	金利	証券化商品	クレジット	金利	G10為替	インベストメント・バンキング	金利
8	金利	インベストメント・バンキング	エマージング・マーケット	クレジット	クレジット	エクイティ・プロダクト	G10為替	エマージング・マーケット

分散の効いた
ビジネス・ポートフォリオ

- ✓ 市場環境に応じて、利益貢献する地域・プロダクトは変化
- ✓ 特定地域・プロダクトに対するネガティブなマーケット要因を分散効果で吸収
- ✓ その時々々の環境・顧客動向に合わせた、機動的なリソース配分を実施

リスク調整後資産の削減

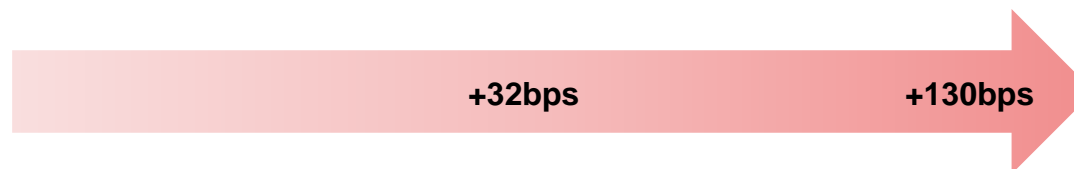


円安進行により、
ドル建のリソース(RWA等)に制約

フィクスト・インカム中心に、
エクスポージャーを削減

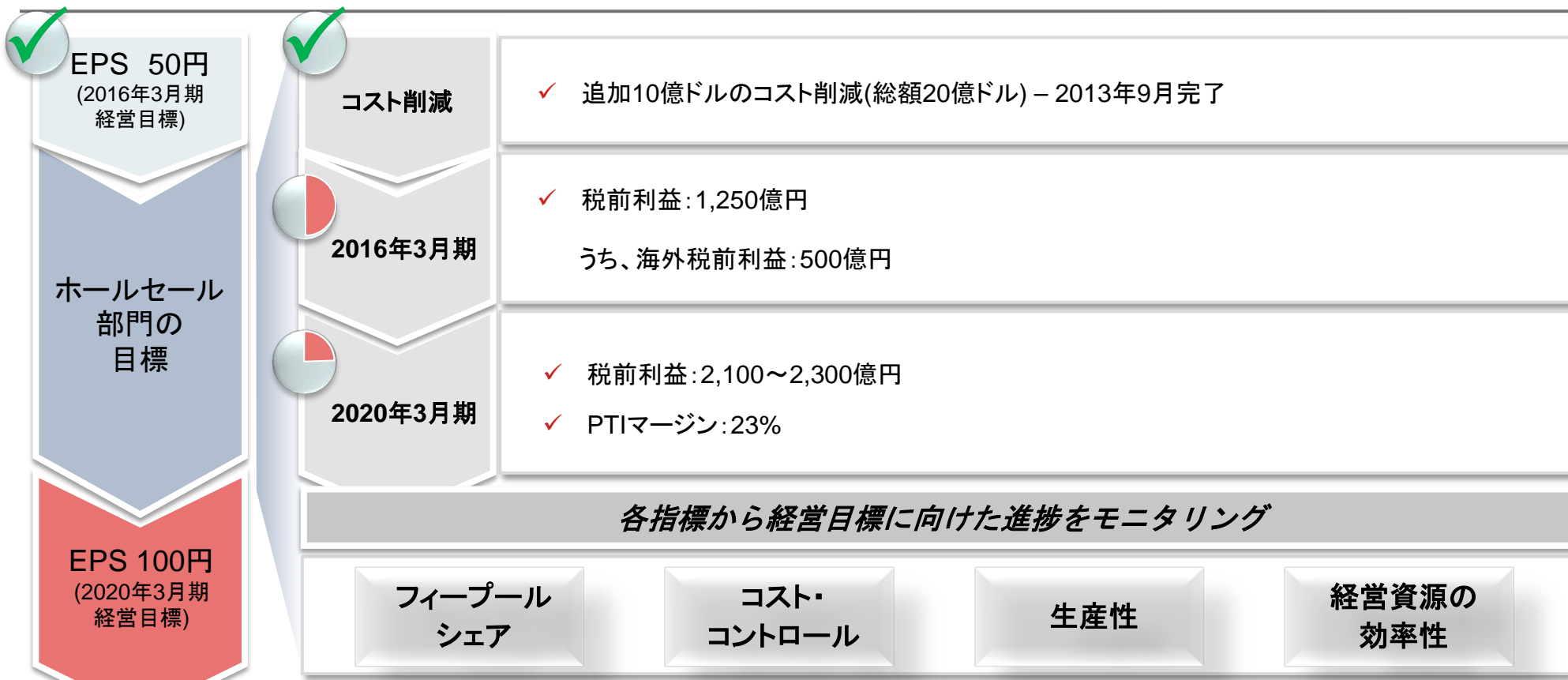
経営資源の効率性
(収益 ÷ RWA)

2014年3月期からの
改善幅



2020年に向け、
RWAを大きく増やすことなく、
経営資源の効率化を更に推進

最後に



市場環境に応じてビジネス戦略や地域戦略を機動的に修正
 収益の拡大とコスト水準の適正化により、税前利益目標の達成を目指す

Disclaimer

本資料は、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。売付または買付の勧誘は、それぞれの国・地域の法令諸規則等に則って作成・配布される募集関連書類または目論見書に基づいて行われます。

本資料に掲載されている情報や意見は、信頼できると考えられる情報源より取得したものです。その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではありません。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落、誤謬、本情報の使用により引き起こされる損害等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

本資料のいかなる部分も一切の権利は野村ホールディングス株式会社に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、当社の書面による承諾を得ずに複製または転送等を行わないようお願いいたします。

本資料は、将来の予測等に関する情報(「将来予測」)を含む場合があります。また当社の経営陣は将来予測に関する発言を行うことがあります。これらの情報は、過去の事実ではなく、あくまで将来の事象に対する当社の予測にすぎず、その多くは本質的に不確実であり、当社が管理できないものであります。実際の結果や財務状態は、これらの将来予測に示されたものとは、場合によっては著しく異なる可能性があります。したがって、将来予測は、過度に信頼すべきではなく、不確実性やリスク要因をあわせて考慮する必要がある点にご留意ください。実際の結果に影響を与える可能性がある重要なリスク要因として は、経済情勢、市場環境、政治的イベント、投資家のセンチメント、セカンダリー市場の流動性、金利の水準とボラティリティ、為替レート、有価証券の評価、競争の条件と質、取引の回数とタイミング等が含まれるほか、当社ウェブサイト(<http://www.nomura.com>)、EDINET(<http://info.edinet-fsa.go.jp/>)または米国証券取引委員会(SEC)ウェブサイト(<http://www.sec.gov>)に掲載されている有価証券報告書等、SECに提出した様式20-F年次報告書等の当社の各種開示書類にもより詳細な記載がございますので、ご参照ください。

なお、本資料の作成日以降に生じた事情により、将来予測に変更があった場合でも、当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。

本資料に含まれる連結財務情報は、監査対象外とされております。

Nomura Holdings, Inc.

www.nomura.com/jp/